

パワーフィルムコンデンサ

小型サイズのMKK DCi-Rタイプをラインアップ追加

2014年4月1日

TDK株式会社（社長：上釜 健宏）は、EPCOSブランドのパワーフィルムコンデンサ「MKKシリーズ」に新たに小型サイズの「MKK DCi-R」タイプ（品名：B25640*）を追加し、ラインアップをさらに拡充したことを発表します。

新たな「MKK DCi-R」タイプは、従来のガス封入式の「MKK DC」タイプや油封入式の「MKK DC-I」タイプをベースに、新たな充填剤として樹脂を採用。静電容量が最大 10000 μ F 超、定格電圧が最大 4000 V DC で、エネルギー密度はガス封入式よりも約 10%高くなっています。

さらに、扁平巻回形内部素子の採用により、体積充填率約 95%を達成し、大幅な小型化を実現しました。堅牢な構造設計により、大電流、高電圧、高ピーク電流に対応できるのが特長です。加えて、樹脂を封入した構造により、放熱性も向上しました。

「MKK DCi-R」タイプの動作寿命は最長 40 年、故障率（FIT）は 100 未満で、厳しい信頼性要件を満たしています。ご要求により、ESR 値は \sim 0.1 m Ω 、ESL 値は \sim 20 nH にまで低減可能です。また、自己回復（SH）機能も備えています。本製品は主に、電車用コンバータや高圧直流送電（HVDC）システムへの搭載に適しています。

主な用途

- ・電車用コンバータや HVDC システム

主な特長と利点

- ・ガス封入式よりも 10%高いエネルギー密度
- ・最大静電容量 10000 μ F 超
- ・最大定格電圧 4000 V DC
- ・低 ESR（ \sim 0.1 m Ω ）、低 ESL（ \sim 20 nH）
- ・大電流、高電圧、高ピーク電流に対応

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。

主な製品としては、各種受動部品*（製品ブランドとしては TDK、EPCOS）をはじめ、電源、HDD ヘッドやマグネットなどの磁気応用製品、そしてエナジーデバイスやフラッシュメモリ応用デバイス等があります。アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、現在、情報通信機器、コンシューマー製品、自動車、産業電子機器の分野において、電子部品のリーディングカンパニーを目指しビジネスを展開しています。

2013 年 3 月期の売上は約 8,500 億円で、従業員総数は全世界で約 80,000 人です。

*主な製品は、コンデンサ（積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ）、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、センサ、ピエゾおよび保護部品等です。

本文および関連する画像はwww.epcos.co.jp/pressreleasesからダウンロードできます。

製品の詳細情報は www.epcos.co.jp/pecで参照できます。

お問合せは marketing.communications@epcos.com. までお送りください。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
小西	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6852-7102	pr@jp.tdk.com